



### 在宅での自分らしさ

往診をしていると、患者さんの昔の様子や、今大切にしている事柄を知ることがあります。

例えば、昔マジックが好きだった方のケースです。病気のために外出できなくなっていました。が、往診中の私たちに

マジックを披露してくれています。そしてそのたとなるといっものです。私たちがのびのびくりに在宅にて切れ目ない医療を提供し、生らなかつたお顔がパツと明かして安堵感を提供するくなつたり、ときには私たちの師匠になって、マジックの手ほどきをし、先日、クリニック内で

「もしバナゲーム」というカードゲームをしました。このゲームは自分の余生があと半年の場合、どう過ごしたいかと考えるゲームです。例えば、「尊厳が保たれる（家族と一緒にに過ごす）」など人生の意思決定支援に大切なさまざまなカードをどんどん刷新していきます。そして最後に残ったカードが、自分にとって一番大切な考えであり、人生最後に最も大切な意思決定



**松原 清二 医師**  
在宅療養支援診療所 まつばらホームクリニック 院長  
総合内科専門医・循環器内科医  
・日本循環器学会専門医  
・日本内科学会認定医  
・認知症サポート医

**☎ 042-439-1250**  
西東京市東町 4-14-18-2F  
(訪問中のため不在が多い)

■電話対応：午前 9:00 ~ 午後 6:00  
■定休日：土日 (祝日は診療)  
■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック

※ 2018年4月、名称が「医療法人社団 頤凌会 まつばらホームクリニック」に変わりました

↑ 診療相談はこちらから

